

西宮市民意識調査の結果

市では、毎年市民意識調査を実施し、みなさまの声を市政に反映するように努めています。

このたび、18歳以上の方から無作為に選んだ3,500人を対象に、昨年9月に調査を行った結果がまとまりました。

今回は、「住宅用火災警報器」、「公共サイン」、「食品ロスの削減」、「参画と協働のまちづくり」の4つのテーマについておうかがいしました。

ご回答いただきましたみなさまには、厚くお礼申し上げます。

※有効回収率：54.7%

●性別 男性：36.2% 女性：58.0% その他0.2%

●年代別 10歳代：2.0% 20歳代：8.1% 30歳代：11.0% 40歳代：18.6%
50歳代：16.9% 60歳代：16.8% 70歳代：16.3% 80歳以上：9.8%

なお、市民意識調査結果報告書は、市民相談課、情報公開課、各支所、サービスセンター、アクタ西宮ステーション、各公民館、図書館（中央・北口・鳴尾・北部・山口分室）で閲覧ができます。

また、市のホームページ（市政情報→広報・広聴→市民意識調査）にも掲載しています。

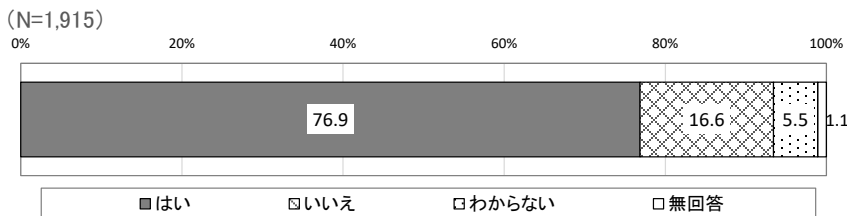
●各選択肢の構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため構成比の合計が100%にならない場合があります。

住宅用火災警報器について

全ての住宅に対する住宅用火災警報器の設置義務化から10年を迎えるにあたり、設置状況を確認するとともに、未設置家庭には設置を、設置家庭には本体の取換えを促したいと考えています。

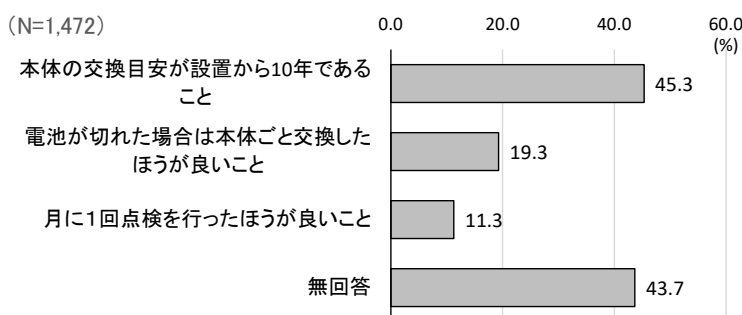
問 あなたのお宅に住宅用火災警報器がついていますか。

住宅用火災警報器がついているお宅は76.9%です。



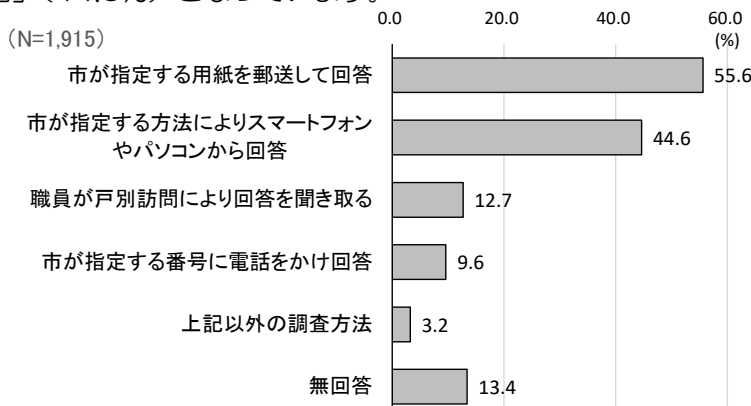
問（前問で「はい」と答えた方のみ）住宅用火災警報器の維持管理に関する項目のうち、知っているものは何ですか。

「本体の交換目安が設置から10年であること」は45.3%の人が知っていますが、その他の管理の認知状況は2割以下です。



問 設置状況調査に、どのような方法であれば協力できますか。

最も多い協力方法は、「市が指定する用紙を郵送して回答」(55.6%)で、次いで「市が指定する方法によりスマートフォンやパソコンから回答」(44.6%)となっています。

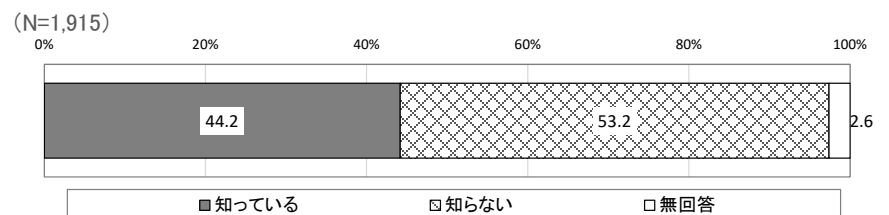


公共サインについて

市内のさまざまな公共サイン（市が掲出する看板類）の中には「情報をわかりやすく伝える」という本来の役割を果たしていないものや、死角になるなど安全性を損ねているものがあり、美観にも影響を与えています。そこで、西宮市では、公共サインの適正化に取り組んでいます。市民のみなさまの公共サインに関する意識や意見をうかがい、今後の公共サイン適正化事業に役立てたいと考えています。

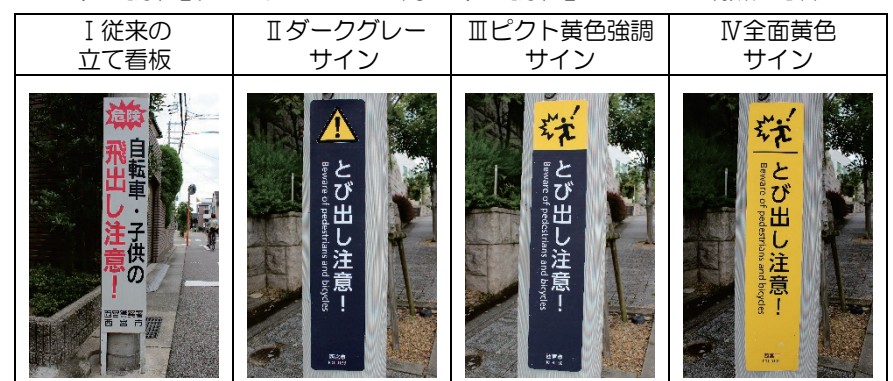
問 「公共サイン」に関する取組について、知っていますか。

「公共サイン」に関する取組を「知っている」人は44.2%です。



問 I～IVの「飛び出し注意」サインについて、どう思われますか。

「A サインに気づきやすい」、「B 情報がわかりやすい」、「C 色彩が街並みと調和」、「D デザインが街並みと調和」の4つの観点で評価

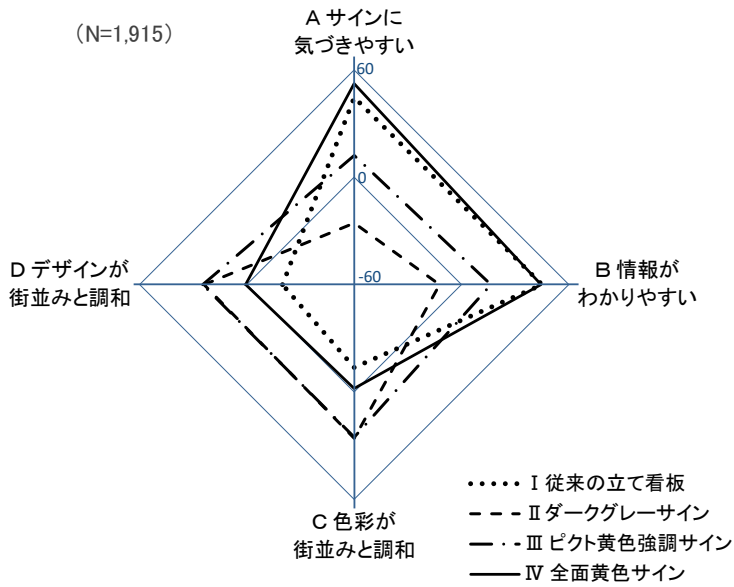


【I 従来の立て看板】と【IV 全面黄色サイン】は、「A サインに気づきやすい」、「B 情報がわかりやすい」の評価点が高く、「C 色彩が街並みと調和」、「D デザインが街並みと調和」の評価点が低くなっています。【II ダークグレーサイン】は、「C」、「D」の評価点が高いですが、「A」、「B」の評価点がマイナスです。【III ピクト黄色強調サイン】については、「A」、「B」の評価点がプラスで、「C」、「D」の評価点も高くなっています。

評価の点数化にあたっては、「思う」「思わない」の違いを重視して、以下のように算出している。

算出方法: 「そう思う」の割合 × 1 + 「ややそう思う」の割合 × 0.5 + 「あまりそう思わない」の割合 × -0.5 + 「そう思わない」の割合 × -1

(N=1,915)



	I 従来の立て看板	II ダークグレーサイン	III ピクト黄色強調サイン	IV 全面黄色サイン
A サインに気づきやすい	44.6	-25.6	12.1	52.3
B 情報がわかりやすい	45.1	-12.2	16.5	44.5
C 色彩が街並みと調和	-13.7	25.9	25.3	-2.0
D デザインが街並みと調和	-19.9	23.9	24.7	0.7

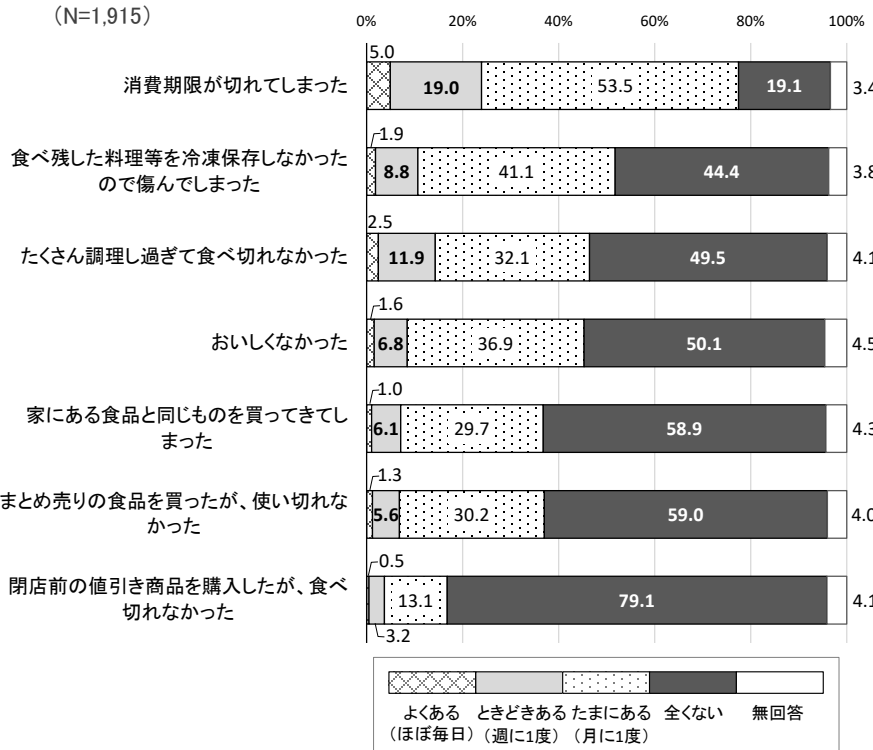
食品ロスの削減について

現在、日本国内では、本来食べられるにもかかわらず食品が廃棄されてしまう「食品ロス」が問題になっており、国民1人1日当たり約132g（茶わん約1杯分のごはんの量に相当）の食品が廃棄されています。食品ロスを引き起こす消費者の行動要因等を調査し、食品ロスの削減に向けた各種広報や新たな施策展開などの参考にしたいと考えています。

問 あなたのご家庭では、食品を廃棄することがある場合は、どんな食品をどのような状況で廃棄していますか。

【消費期限が切れてしまった】、【たくさん調理し過ぎて食べきれなかった】、【食べ残した料理等を冷凍保存しなかったので傷んでしまった】の3つの場合は、「よくある（週に数回）」、「ときどきある（週に1度）」が、他に比べてやや多いです。「全くない」が半数を超えるのは、【おいしくなかった】、【家のある食品と同じものを買ってきてしまった】、【まとめ売りの食品を買ったが、使い切れなかった】、【閉店前の値引き商品を購入したが、食べ切れなかった】の4つの場合です。

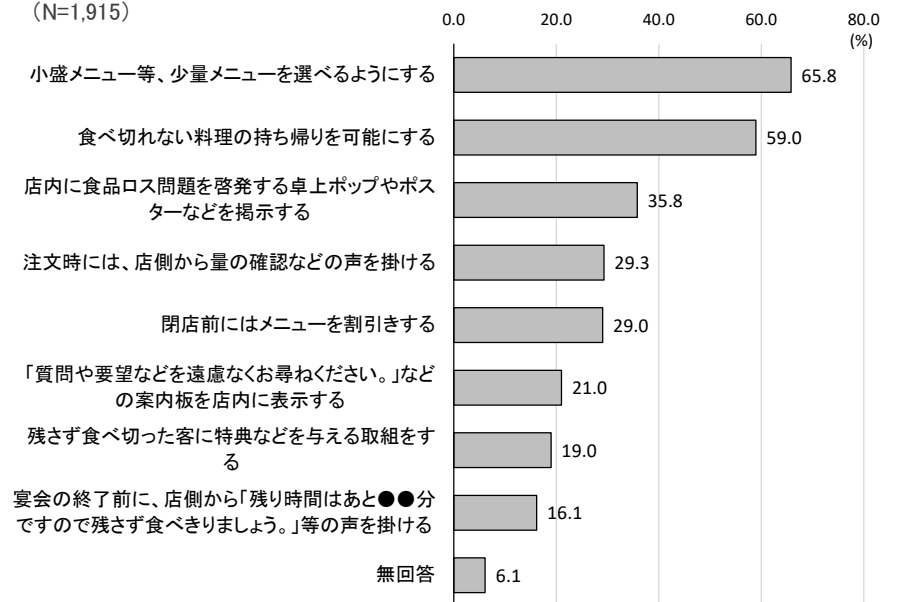
(N=1,915)



問 あなたが飲食店側に望む取組内容について、あてはまるものにつけてください。

飲食店側に望む取組として、半数以上の人があげているのが「小盛メニュー等、少量メニューを選べるようにする」、「食べ切れない料理の持ち帰りを可能にする」です。

(N=1,915)



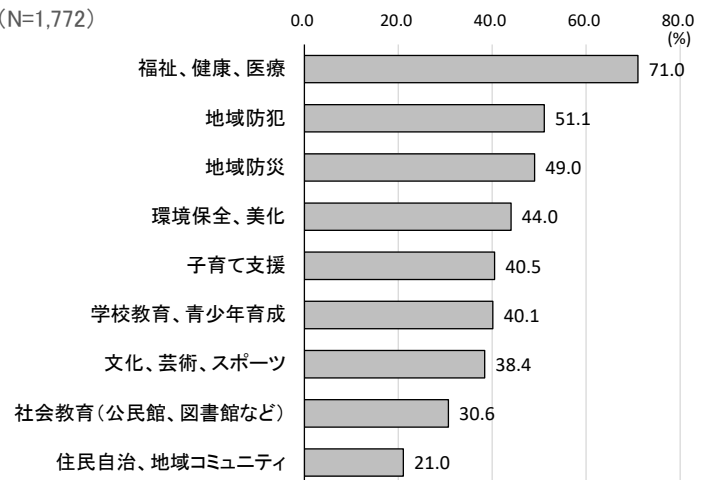
参画と協働のまちづくりについて

西宮市では、参画と協働の推進に関する条例にもとづき、市民のみなさまの豊かな知識や経験をまちづくりに生かしていただき、みなさまと市が共に考え、共に行動するための取組を進めています。市政参画や地域活動等に対するみなさまの意識や行動を調査し、今後の参画と協働のまちづくりに役立てたいと考えています。

問 あなたは、西宮の市政のうちどの分野に関心をお持ちですか。

市政のいずれかの分野に関心がある人は92.5%です。その人が関心を持っている市政の分野で最も多いのが「福祉、健康、医療」です。

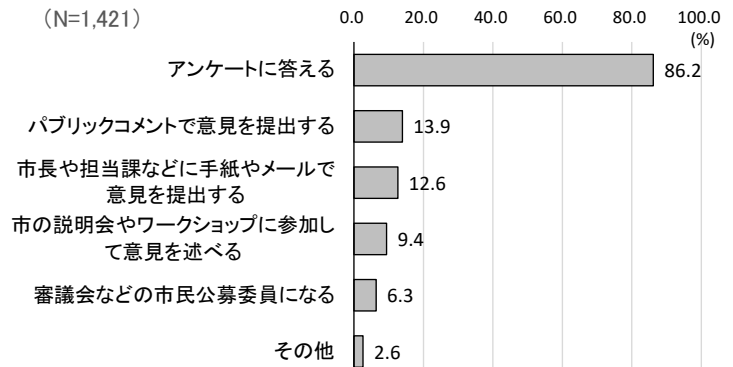
(N=1,772)



問 どのような機会があれば、市政に参加したいと思いますか。

いずれかの機会を利用して市政に参加したいと思っている人は74.2%です。利用したい参加機会として最も多いのが「アンケートに答える」です。

(N=1,421)



市民意識調査の結果に関するお問い合わせは、
西宮市 政策局 市長室 市民相談課
 (TEL : 0798-35-3100) まで